

(2) 行政(市役所)経営改革

地域住民が運営する中央図書館北野分室がオープン

(No.44-1 図書館と地区図書室を連関させる体制づくり)

18年7月にオープンした「中央図書館北野分室」。前身である「地区図書室」から中央図書館の分室として生まれ変わることで、図書館資料の検索・予約・貸出・返却や読書相談などの図書館機能の大幅な充実に加え、開館時間の拡大や蔵書数の増加により市民にとって身近に読書を親しむことができる環境を整備しました。

運営は、地区図書室から引き続き北野地区住民協議会の皆さんが担い、小規模ながら「高齢者と親子にやさしい図書館」をテーマに地域の読書活動の拠点をめざしています。



中央図書館北野分室で聞きました

▶地区図書室時代から運営に携わる近藤妙子さん(左)と内山弘子さん



Q: 分室化にあたっての苦労は?

A: 開設までの短い期間で新たな業務やコンピュータの操作を覚えることが大変でした。

Q: 分室化で変わったことは?

A: 訪れる方のニーズが変わり、レファレンス業務がととも増えました。市の担当者との力を合わせてがんばっています。

Q: 努力していることは?

A: 勤務が終わってから自主的に勉強会を開き、どうすれば気持ちよく皆さんにご利用いただけるかを話しあっています。開設から2年が経ちましたが、まだまだ発展途上。市とも協力して改善していきたいですね。

図書館ではこんな取組も

○「ブックスタート」

3～4か月児健康診査の際に、赤ちゃんと保護者が絵本を通じて心通わせる機会を持ってもらうため20年4月から始めました。

○他市との相互利用サービス実施

14年4月からは相模原市、20年4月からは京王線沿線7市との間で図書館の相互利用を開始。さらに20年8月からは、あきる野市の図書館も利用でき、相互利用市の図書館の本が直接借りられるようになりました。

この他にも開館時間の延長など、「読書のまち八王子」推進のためのさまざまな取組が進行中です

時代の変化に対応した審議会への再編

(No.人 4 審議会のあり方検討)

審議会、協議会等の役割の再確認を実施。役割を終えたものを廃止するとともに、検討課題を集約することによって同種の役割を果たしていた審議会、協議会等を統合しました。

- 24 の審議会等を廃止
- 10 の審議会等を4つに統合

統合した審議会等

審議会等の名称	委員数	審議会等の名称	委員数
環境審議会	15	環境審議会	15
廃棄物減量・再利用推進審議会	19		
大横町福祉センター運営協議会	5	保健福祉センター運営協議会	11
東浅川保健福祉センター運営協議会	11		
南大沢福祉センター運営協議会	9		
社会教育委員会議	15	生涯学習審議会	16
公民館運営審議会	9		
図書館協議会	11		
郷土資料館運営協議会	11	博物館運営協議会	10
子ども科学館運営協議会	10		

(単位:人)

粗大ごみ収集制度を変更し、市民サービスを向上

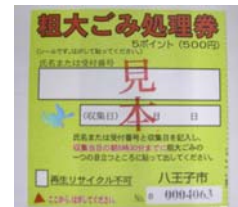
(No.88 環境政策充実にに向けた効率的な廃棄物処理体制の構築)

19年10月から粗大ごみの収集方法をポイント・シール制に変更し、収集業務を委託化。一方で、職員のこれまでの経験を活かし、収集依頼の窓口を一本化するため、戸吹清掃事業所内に「粗大ごみ受付センター」を開設しました。

- 収集時の立会いが不要となり市民の負担軽減を図るとともに、収集までの日数を短縮
- 新たな課題である事業系ごみの減量のため、収集作業員を事業系清掃指導員として配置

「ごみよろず相談」をスタート!

20年8月から、粗大ごみ受付センターでは、粗大ごみの受付に加え、ごみや資源物に関する疑問や相談にお答えする「ごみよろず相談」を開始。今後は、ごみに関する要望や相談受付の総合窓口化を進めていく予定で、職員一丸となって取り組んでいます。



▲粗大ごみ処理券



▲粗大ごみの収集依頼に対応する職員

指定管理者制度導入で都内初「道の駅八王子滝山」は大盛況！

(No.施1 指定管理者制度の導入)

「道の駅八王子滝山」は、都内で初めての道の駅として19年4月にオープンしました。その管理運営に当っては、指定管理者制度を導入することにより民間のノウハウを広く活用し、効果・効率的な施設運営と市民サービスの質の向上をめざしています。ドライバーの休憩施設としての機能はもちろん、地元農家との連携による地場野菜の直売所、地場産の食材を使った飲食店のブースを設けるなど、民間ならではのアイデアを活かした「都市型」道の駅として注目を集めています。



「道の駅八王子滝山」で聞きました！



◀真剣な眼差しで答える

道の駅八王子滝山の本多淳支配人（右）と近藤剛副支配人

Q：民間企業が管理運営することのメリットは？

A：サービスエリア等の運営経験を活かしたテナント指導ができることですね。

Q：開設にあたっての苦労は？

A：店舗運営には自信があったものの、農家の方々とのお付き合いは初めてのことでしたので当初は戸惑いました。会話を重ねお互いの思いをぶつけることで今はいい関係を築けています。

Q：どのような道の駅にしたいですか？

A：農家の方々と協力し、八王子産の野菜を欠かすことなく提供していきたいですね。また、より多くの人に訪れてもらえるように、地域の交流拠点としての役割をもっと強化していきたいです。周辺に大学も数多くありますので、若者にも楽しめる企画を考えてなくてはなりませんね。



▲新鮮な地場産野菜を中心にした品揃えで連日の大盛況！

「指定管理者制度」とは

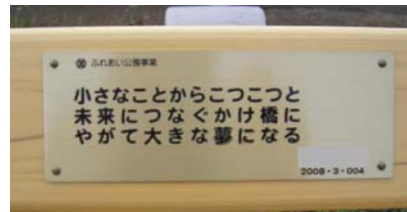
市が出資する法人や公共的団体に限られていた公の施設の管理運営業務に、地方自治法改正により民間事業者やNPO法人等が参入可能となった15年9月に施行された制度のこと。本市では16年度から運用を開始し、20年度当初において446の施設で導入。民間企業参入率73%は全国トップクラスである。

市民の思いを刻んだ「ふれあいベンチ」の設置

(No.58-1 八王子版「思い出ベンチ」の導入)

市民にメッセージ付きのベンチ「ふれあいベンチ」の設置を呼びかけ、より身近で親しめる公園づくりをめざしました。設置されたベンチには、公園や人と人との心に残る思い出のメッセージが刻まれています。

- サレジオ工業高等専門学校の協力によりベンチをデザイン
- デザインは「八王子市の木・イチョウ」と「ボールが弾む元気なイメージ」の2種類
- これまでに宇津貫公園、小田野中央公園、下恩方公園、別所公園、殿入中央公園の5つの公園に設置



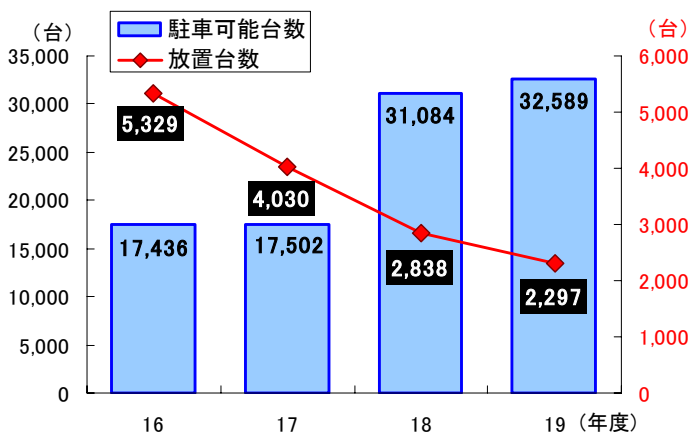
放置自転車削減をめざして民間企業と連携

(No.60 自転車駐車場・保管所の確保)

鉄道事業者と市が連携し、自転車駐車場や保管所を開設。駐輪場等の整備によって放置自転車が減少し、駅周辺の交通環境が大幅に改善しました。

17～19年度の開設状況

- 新設：めじろ台駅駐輪場、狭間駅駐輪場、長沼町保管所
- 拡充：堀之内保管所、小宮駅駐輪場



▲ 多くの人が利用する新設の京王線 狭間駅駐輪場

市の事業を応援！新たな市民参加方法の創設

(No.4-1 ミニ市場公募債の発行)

行政への市民参加と資金調達が多様化を推進するため、17年11月に本市初の住民参加型ミニ市場公募債「八王子みどり市民債」を発行しました。この市民債は、八王子の市街地に残る貴重な「みどり」を後の世代に残すため、『中野山王二丁目緑地』、『山田緑地』、『緑町緑地』、『栗の須緑地』の4か所の緑地を公有化する事業の財源として活用しました。

10億円の募集に対して、86.9億円分(4,869件)もの応募があり、市民の関心の高さがうかがえます。



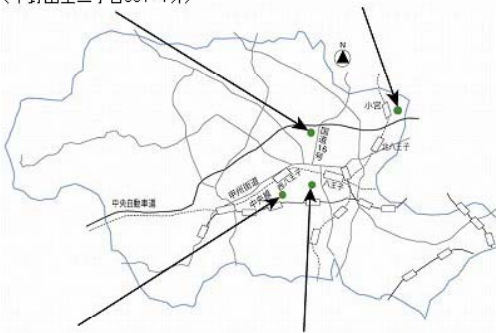
申込者の声(応募時のアンケートから)



中野山王二丁目緑地
(中野山王二丁目551-4外)



栗の須緑地(石川町741-1)



山田緑地(山田町1534-4)



緑町緑地(緑町856-4外)

孫達にかけがえのない自然を残してあげたい熱い思いがまとまれば広い緑地が買え、緑化に協力でき、うれしいです。

まちづくりに対して参加できることを楽しみにしています。関心をもっています。

結婚して一度は他市に引っ越しましたが、自分の育った八王子に戻って来ました。私の子どもも愛してくれる市になって欲しい。

住民参加型というのが好感持てたことと、緑地を確保して健康で生き生きした町づくりの一環に協力したいと申し込みました。なによりオープンな市政計画がいいです。

アルバイトで貯めたお金を、学生であるので有効な使い道に悩んでいた。社会的な価値ある事に使ってもらえれば嬉しい。

このような用途が分かる債券はとても良いと思います。市政への参加意識も高まるので、今後もいろいろな債券を考えていただきたいと思います。

ほか多数いただきました



市長メルマガで市政を知ろう！

(No.8 重点施策を積極的に発信するしくみづくり)

市の取組を市長のメッセージとともに市民に対してわかりやすく伝え、より身近に感じてもらえるよう、「市長メールマガジン」を18年4月から月2回発行。「市長メールマガジン」による情報を契機とした市民からの要望・意見を多数いただくようになり、市民とともにまちづくりを考える体制が充実しました。

メールマガジンとは

あらかじめ登録していただいた利用者のパソコンや携帯電話にメールでお知らせするもの。市では、このメール配信機能を活用して犯罪・不審者情報、防災情報などの配信も併せて行っています。登録は下記の仮登録用アドレスへメールの件名、本文を入力しない空メールを送信してください。

仮登録用アドレス

icho@gmpw.jp (すべて半角英数)



▲市政だけでなく、防犯・防災情報もチェック

八王子の魅力を多くの人にお届け

(No.70 まちの魅力を発信)

マスメディアへ積極的な働きかけを行い、より効果的に八王子のまちの魅力を発信。情報誌の発刊にあたっては、八王子の个性的なお店や名所などの情報を整理するとともに、協賛企業を募るなどの支援をしました。

- 「るるぶ八王子市」(17年6月)が発刊
- 「八王子Walker」「まっぶるマガジン八王子」(19年3月)が発刊
- 「八王子Walker vol.2」(20年3月)が発刊

